



## 平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成22年7月30日

上場会社名 サトレストランシステムズ株式会社 上場取引所 大  
 コード番号 8163 URL <http://www.sato-restaurant-systems.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長 (氏名) 重里 欣孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 (氏名) 寺島 康雄 (TEL) 072-227-5901  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第1四半期の業績（平成22年4月1日～平成22年6月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	5,690	0.5	△102	—	△136	—	△356	—
22年3月期第1四半期	5,662	△8.7	△83	—	△124	—	△168	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△14	18	—	—
22年3月期第1四半期	△6	70	—	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	22,348		9,117		40.8	362	89	
22年3月期	21,607		9,547		44.2	380	00	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 9,117百万円 22年3月期 9,547百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
22年3月期	—	—	0	00	—	—	0	00	0	00
23年3月期	—	—								
23年3月期(予想)			0	00	—	—	0	00	0	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

### 3. 平成23年3月期の業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期（累計）	12,100	△0.5	300	△25.1	230	△21.0	20	△88.4	0	80
通期	24,000	0.3	600	1.2	450	12.9	100	△58.5	3	98

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

(注) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更：無

(注) 「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	25,394,380株	22年3月期	25,394,380株
23年3月期1Q	269,611株	22年3月期	268,311株
23年3月期1Q	25,125,544株	22年3月期1Q	25,130,619株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、輸出の増加や生産の持ち直しにより、企業収益の改善や業況判断の改善が見られますが、依然として厳しい雇用環境や所得環境が継続しており、個人消費は低調に推移しております。

外食産業におきましても、個人消費が低迷する中、業種業態を越えた価格競争等の激化により経営環境は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況の中、当社は「最も顧客に信頼される和食レストランの実現」に向けて諸施策を積極的に推進するとともに、コストの見直しを継続推進し、収益力の強化に努めてまいりました。

店舗展開につきましては、郊外和食業態「和食さと」で1店舗の新規出店と1店舗の閉店を行いましたので、当第1四半期会計期間末の店舗数は209店舗となりました。その内訳は、郊外和食店196店舗、すし半店13店舗であります。

営業施策では、春のメニュー変更時にお値打ち感の訴求のため、販売価格や内容の見直しを実施しました。主力の郊外和食店「和食さと」では、しゃぶしゃぶ食べ放題「さとしゃぶ」を、5種類のだしの中から2種を同時に楽しめる「さとしゃぶ二色鍋」へバリューアップしました。4月には、前年6月の販売開始から10ヶ月で100万食を突破し、6月には、1周年記念として「しゃぶしゃぶ食べ放題1周年記念&父の日キャンペーン」を実施する等好評を得ております。

以上の結果、当第1四半期会計期間の業績は、売上高56億90百万円（前年同四半期比0.5%増）、営業損失1億2百万円（前年同四半期は83百万円の営業損失）、経常損失1億36百万円（前年同四半期は1億24百万円の経常損失）、四半期純損失3億56百万円（前年同四半期は1億68百万円の四半期純損失）となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、223億48百万円（前事業年度末比7億41百万円の増加）となりました。

流動資産は39億82百万円（前事業年度末比7億37百万円の増加）となりました。これは主に、現金及び預金6億48百万円の増加によるものであります。

固定資産は183億65百万円（前事業年度末比3百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の増加96百万円、投資有価証券の減少91百万円などでありあります。

流動負債は、54億64百万円（前事業年度末比2億77百万円の増加）となりました。これは主に、短期借入金の増加2億86百万円、未払金の増加1億21百万円、賞与引当金の減少1億10百万円などでありあります。

固定負債は、77億66百万円（前事業年度末比8億94百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金の増加6億27百万円、資産除去債務の増加2億22百万円などでありあります。

純資産は、91億17百万円（前事業年度末比4億30百万円の減少）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、期首残高に比べ6億48百万円増加し、28億85百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、1億57百万円（前年同四半期は9百万円の獲得）となりました。これは主に、減価償却費1億79百万円や資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1億54百万円などによる増加と、税引前四半期純損失2億97百万円などによる減少であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億7百万円（前年同四半期は36百万円の獲得）となりました。これは主に、差入保証金の回収による収入65百万円、有形固定資産の取得による支出72百万円などでありあります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、9億8百万円（前年同四半期比28.1%減）となりました。これは主に、短期借入金の純増1億5百万円、長期借入金の純増8億9百万円などでありあります。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法は、定率法を採用している資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益はそれぞれ4百万円減少しており、税金等調整前四半期純利益は1億59百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は2億22百万円であります。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,885,660	2,237,494
売掛金	140,585	151,462
商品及び製品	150,367	138,984
原材料及び貯蔵品	350,769	329,035
繰延税金資産	210,504	202,796
その他	244,545	184,827
流動資産合計	3,982,433	3,244,601
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,680,997	2,665,398
土地	9,425,318	9,425,318
その他(純額)	803,784	722,410
有形固定資産合計	12,910,099	12,813,127
無形固定資産	239,535	237,462
投資その他の資産		
投資有価証券	432,027	523,791
長期貸付金	488,497	467,068
差入保証金	3,334,623	3,389,654
繰延税金資産	547,640	570,685
その他	413,566	360,758
投資その他の資産合計	5,216,355	5,311,959
固定資産合計	18,365,990	18,362,549
資産合計	22,348,423	21,607,150

(単位:千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	460,965	484,101
短期借入金	3,112,296	2,825,800
未払金	1,173,111	1,051,284
未払法人税等	43,681	139,851
未払消費税等	106,407	78,001
賞与引当金	92,400	203,000
店舗閉鎖損失引当金	56,853	56,853
関係会社事業損失引当金	48,000	53,000
その他	370,821	295,452
流動負債合計	5,464,536	5,187,345
固定負債		
長期借入金	6,287,271	5,659,300
再評価に係る繰延税金負債	917,768	917,768
役員退職慰労引当金	31,403	31,403
資産除去債務	222,035	—
その他	307,905	263,363
固定負債合計	7,766,383	6,871,835
負債合計	13,230,919	12,059,180
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,592,458	5,592,458
資本剰余金	3,224,180	3,224,180
利益剰余金	367,772	724,079
自己株式	△191,369	△190,627
株主資本合計	8,993,041	9,350,091
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,263	78,680
土地再評価差額金	119,198	119,198
評価・換算差額等合計	124,461	197,878
純資産合計	9,117,503	9,547,969
負債純資産合計	22,348,423	21,607,150

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	5,662,992	5,690,797
売上原価	1,626,025	1,690,270
売上総利益	4,036,966	4,000,527
販売費及び一般管理費	4,120,924	4,103,242
営業損失(△)	△83,957	△102,715
営業外収益		
受取利息	3,290	2,900
受取配当金	8,195	7,470
受取家賃	34,699	30,925
補助金収入	14,389	—
雑収入	8,995	19,673
営業外収益合計	69,569	60,969
営業外費用		
支払利息	52,679	50,002
不動産賃貸費用	30,024	25,066
雑損失	27,405	19,481
営業外費用合計	110,109	94,549
経常損失(△)	△124,497	△136,294
特別損失		
固定資産除却損	4,569	6,398
賃貸借契約解約損	—	109
早期割増退職金	6,529	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	154,814
特別損失合計	11,099	161,322
税引前四半期純損失(△)	△135,597	△297,617
法人税、住民税及び事業税	25,186	25,004
法人税等調整額	7,697	33,685
法人税等合計	32,883	58,689
四半期純損失(△)	△168,481	△356,307



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失(△)	△135,597	△297,617
減価償却費	195,127	179,578
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	154,814
賞与引当金の増減額(△は減少)	△123,400	△110,600
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	△46,990	—
関係会社事業損失引当金の増減額(△は減少)	—	△5,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△47,408	—
受取利息及び受取配当金	△11,485	△10,371
支払利息	52,679	50,002
有形固定資産除却損	4,080	8,058
売上債権の増減額(△は増加)	△3,510	10,876
たな卸資産の増減額(△は増加)	△49,523	△33,116
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,473	△23,135
未払金の増減額(△は減少)	226,905	121,826
未払消費税等の増減額(△は減少)	42,972	28,405
その他	55,839	△90,826
小計	150,215	△17,105
利息及び配当金の受取額	8,204	7,473
利息の支払額	△48,334	△48,563
法人税等の支払額	△101,017	△98,900
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,068	△157,095
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△103,076	△72,293
差入保証金の差入による支出	—	△165
差入保証金の回収による収入	144,390	65,196
建設協力金の支払による支出	—	△30,000
建設協力金の回収による収入	17,944	17,206
その他	△22,960	△87,611
投資活動によるキャッシュ・フロー	36,298	△107,667
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	330,000	105,000
長期借入れによる収入	1,720,000	1,890,000
長期借入金の返済による支出	△781,329	△1,080,533
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,642	△5,519
自己株式の取得による支出	△389	△741
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,263,639	908,205
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,083	4,723
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,314,088	648,165
現金及び現金同等物の期首残高	1,597,399	2,237,494
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,911,488	2,885,660

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。